

Rotary  あすかロータリークラブ
Asuka Rotary Club Weekly Bulletin

RI 会長 : K. R. "Ravi" Ravindran

地区ガバナー : 中澤 忠嗣

会長 : 澤 光彦 エレクト : 吉川 隆博

副会長 : 松中 久 幹事 : 森下 秀城

クラブ会報委員長 : 富士川拓也

Vol. 25 No. 20 (No. 1167) 2015 年 11 月 19 日発行

前回のニコニコ / 前期会費預かり分 / 今年度累計
¥47,000 / ¥855,000 / ¥1,418,500



秋彩の高原 於:宇陀市鳥見山 撮影者:井上重行

第 1167 回 2015 年 11 月 19 日 (木)

- 1 開会点鐘
- 2 ソング「我等の生業」
- 3 会長報告
- 4 幹事報告
- 5 出席報告
- 6 ニコニコ報告
- 7 委員会報告
- 8 会食&卓話
「ワインあれこれ」松山会員
- 9 閉会点鐘

1166 回報告 2015 年 11 月 12 日 (木)

於: 橿原ロイヤルホテル

ソング

「四つのテスト」 中川 基成君

出席報告

	全会員	免除者	出席者	MU	出席率%
第 1166 回	56	24	41 (18)	5	92.00
第 1164 回	57	24	46 (17)	2	96.00

ニコニコ

- 澤 光彦君 「食べて応援・買って応援」事業には多くの会員が参加され、大成功に終わりました。ご協力ありがとうございました。
- 中西 知君 25 周年の大イベントに雨を降らせたのは私の不徳のいたすところです。心より深くお詫び申し上げます。皆さん! 雨の中、本当に頑張っていただき、感謝感謝です。あすか RC 会員の熱情に敬意を表します。
- 吉川 隆博君 11 月 8 日の 25th 記念事業、本当にお疲れ様でした。東松島の皆様もとても喜んでおられました。あすか RC

の方々にくれぐれもよろしくお伝え下さいとのことでした。

島田 悦治君 11 月 8 日 25 周年記念事業、大変お疲れさまでした。大成功に終わり、本当に良かったです。

以下同文

清水 徹君 仲川 和馬君 吉田 雄策君 杉本 憲秀君 皆様、8 日は休日にもかかわらず、お世話をお掛け致しました。夜の打ち上げ、お酒がよく回り、明るく日は二日酔いで大変でした。

吉田 勝亮君 大海鮮市、大変お疲れ様でした。懇親会ではいつになく飲みすぎました。井上 重行君 芸術の秋、橿原美術展が本日より開催されております。橿原万葉ホールで 18 日までです。私の写真も展示しております。是非ご高覧下さい。

久保真須夫君 結婚記念日の花束、ありがとうございました。

青山 信房君 誕生日のお祝い、ありがとうございました。

会長挨拶

○先日 11 月 8 日の創立 25 周年記念事業「食べて応援・買って応援」の大海鮮市はあいにくの雨模様でしたが、たくさんのお客様にご来場いただき、大盛況にて終わることができました。私自身、何もできませんでしたが、翌日起きるとふくらはぎが軽く筋肉痛でした。ですので、一生懸命お手伝いいただいた皆様の疲れはいくばかりかと感謝しています。

○来年 5 月 21 日には、創立 25 周年記念式典という、当クラブにとって大きな行事がございます。こちらも大成功をおさめたいと思いますので、皆様のご協力よろしくお願ひします。

幹事報告

○居内会員より退会届が提出され、本日の理事会にて退会が承認されました。皆様にくれぐれもよろしくお伝え下さいとのことです。つきましては、

4 つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日付けを以って当クラブの会員数は 56 名となりました。

理事会審議事項

- 檀原 RC 合同例会決算について
- 家族親睦忘年例会について
- 新年夜間例会について
- 指名委員会について
- 12月10日の例会の卓話者変更について

委員会報告

○親睦・R 家族委員会
ワイン例会について

米田委員長

11 月のお誕生日
26 日 柳田会員

おめでとう
ございます♪



次回の例会

於:8 階スカイレストラン檀原

「ラグビーをもっと楽しんでもらうために」

武井 仁思会員

「病よもやま話」



島田 悦治 会員

○日本におけるピロリ菌の現状

ヘリコバクター・ピロリ（以下ピロリ菌）は、1983年にウォーレン博士とマーシャル博士によって発見されました。ピロリ菌が胃炎や十二指腸潰瘍と深い関係があることはすでに証明されており、ピロリ菌を取り除くこと（除菌）で、潰瘍の再発が著しく低下することも明らかになっています。胃がんとの関係も、1994年にWHOはピロリ菌を確実な胃がんの原因物質だと認めています。最近の疫学研究では、ピロリ菌感染の早い時期に除菌を行うと胃がんの発生が抑えられることが証明されました。また動物実験でもピロリ菌が胃がんの発生を促進する事が証明されています。

ピロリ菌の診断には、次の3つの方法があります。

- ①胃の粘膜や便から直接ピロリ菌がいることを証明する方法
- ②血液の尿の中のピロリ菌の抗体を測定する方法
- ③ピロリ菌が持つウレアーゼという酵素の活性化をみる方法

これらの方法をうまく使うことで、確実に感染を診断することが出来ます。

除菌療法は、ペニシリンとクラリスロマイシンという2種類の抗生物質と、プロトンポンプ阻害剤という胃酸を強力に抑えるお薬を、1週間内服していただきます。これを「一次除菌療法」と言います。しかし除菌に使われているクラリスロマイシンは、カゼやちくのう症で処方されるお薬です。そのため、ピロリ菌がクラリスロマイシンに慣れてしまい、効かない状況（耐性）が起きました。学会が調査したところ、2000年から2007年にかけて、ピロリ菌がクラリスロマイシンに対して耐性を持つ率7%から30%近くにまで増加しました。このため、新しい除菌療法が必要になり、2007年の8月に一次除菌方法が効かなくなった人に対する除菌療法が保険適用になりました。この方法は、「二次除菌療法」と言って、クラリスロマイシンに代え、メトロニダゾールという抗生物質を使うものです。この方法では90%以上の人で除菌が成功します。新しい除菌療法もありますので、潰瘍で悩んでいる方やこれまでに除菌できなかった方は、かかりつけの医師に相談されてはいかがでしょうか。

○ロタウイルス胃腸炎

ロタウイルスに感染することで発症する胃腸炎で、冬から春先にかけて多発するため「冬季下痢症」とも呼ばれています。これは、ほぼ全ての子どもが5歳までに一度はかかる病気です。感染経路は経口感染で、患者の便や吐物に含まれるウイルスが手やおもちゃなどを介して口から体内に入ることにより、1～3日の潜伏期間を経て発症します。

主な症状は下痢、嘔吐、腹痛、発熱で、特に下痢は“米のとぎ汁様”と例えられる白っぽい水のような便が頻回に出ることが特徴です。通常4日から7日程度で症状は治まっていますが、2歳以下の年少児が初めて感染した場合には、ひどい下痢や嘔吐により高度の脱水症状を起こすことがあり、乳幼児にみられる胃腸炎の中では最も重症化しやすいといわれています。まれに脳症や髄膜炎などの合併症を起こすこともあります。

一方で、一度このウイルスに感染すると免疫ができますので、2回目以降にかかったとしても症状は軽く済むことがほとんどです。他のウイルスが原因で起こる多くの病気と同様に、この病気に特別な治療法はありません。こまめに水分を補給し、脱水症状を予防することが大切ですが、症状が強い場合には点滴による水分補給が必要となることもあります。ロタウイルス胃腸炎の予防には、普段からしっかりと手洗いをする習慣をつけることが大切です。汚染された衣服やタオルの消毒には塩素系の洗剤が有効とされています。また平成23年11月から、日本でも生後6～24週間の乳児を対象にロタウイルスに対するワクチンが利用できるようになりました。